

（仮称）石狩・厚田洋上風力発電事業に係る計画段階環境配慮書 住民説明会の質疑応答サマリ

No.	分類	参加者からの質問要約	事業者回答要約
風車の騒音に関する質問及び意見			
1	騒音・超低周波音 （予測評価方法に関する 質問と要望）	騒音・低周波音の累積的影響について事業者の考えと予測評価についての質問。複数基の風車の羽根の回転が同期した場合に、騒音、低周波音のレベルが上昇する事に対する懸念。実際に騒音・低周波に悩んでいる住民からの悩みに耳を傾けてほしい。	石狩市ゾーニング事業にて病院などの重要施設から1.2kmの離隔記載あり。本事業は沿岸から約10km離して計画。採用する機種にもよるが、沿岸から約2km以上離せば施設の稼働に伴う騒音による重大な環境影響を及ぼすおそれはないと判断される。方法書段階以降、累積的評価についても適切に予測評価を予定。実際に騒音で悩んでいる住民からの意見聴取もふくめ、今後も積極的に耳を傾けていく。
2	騒音・超低周波音 （予測評価方法に関する 質問と要望）	方法書以降について低周波についてA特性測定について、重みづけしない生データの提供は可能か？	メーカーとの守秘義務契約に抵触しない限りにおいて調査結果を適切に説明する。
3	騒音・超低周波音 （予測評価方法に関する 質問と要望）	低周波音について、環境省が示している計算式のみならず、定在波の影響など、いろいろな研究成果を踏まえて、どのぐらい伝播するのか予測をして欲しい。	環境省のアセス指針に従い、今後の調査段階で調査方法も含めて住民の方が納得する形で話し合い、調査結果をお示し出来るよう努力する。
4	騒音・超低周波音 （健康被害に対する質 問）	万が一、健康被害が発生した場合の補償や、既に事業を開始している事業者を含めた事業者間の責任や補償に関する質問。	風車の影響で住民の方が健康被害にあった事実を確認し、科学的に因果関係が証明されれば、補償を含めた対応は行う。 事業者間の責任・補償については現時点では回答できない。
縦覧方法に関する質問及び意見			
5	縦覧・公表方法に対する 質問と要望	配慮書のダウンロード、印刷ができない理由。及び国の指針として環境アセス図書のダウンロード、印刷ができるようにすべきと言われている中、事業者の考えは。また、全ての方がパソコンがみれるわけではない、縦覧方法については、今後の課題として考えていただきたい。	著作権の観点から無断複写・ネットへの転用のリスクを踏まえ、ダウンロード、印刷できないようにしている。一方、公開の利便性向上は検討する。
景観に関する質問及び意見			
6	事業計画エリアにおける 離岸距離をとる事につ いて事業者の考えにつ いて	なぜ着床式か？浮体式の方が離岸距離を取れる。経済性が理由か？景観や環境を配慮して水深200m迄離すことは考えられないか？	大規模な浮体式は実証研究の段階で実用化するのには2030年頃と想定。現時点で、商用化された大規模な洋上風力は着床式と判断。

漁業者、魚に関する質問や意見			
7	漁業に対する影響や漁業者との協議状況について	漁業者にとって、どういうメリットがあるのか大事になってくると思うが、漁業者との協議はどのようになっているか？	石狩湾に関連する全ての漁協と協議している。ニシン、サケの漁獲高は比較的好調であるが、日本海では漁獲高は減少しており、その中で今後漁業者どう生きていくのか、漁協としても考えていきたいという意向は聞いている。
8	漁業に対する影響や漁業者との協議状況について	稼働後の騒音により、どのような漁業影響があると考えているか。	事前から事後の長期モニタリングは継続して実施していく。また、現状の温暖化の影響も出ている中で、調査方法についても検討する。
9	風車基礎部の漁礁効果について	漁礁効果のエビデンスについて。	海外、国内（銚子沖、五島沖）からの事例を含めた報告、ネット動画、海技研の資料等で、事例は豊富にある。ただし、石狩湾についてどうなのかは、今後の漁業者と詰めていくなかで必要な調査は実施予定。
10	動植物（海域）の予測評価に対する質問	海洋生物についてNEDOは評価の指針を具体的に明らかにしていないが、どのような評価方法を採用する予定か。	海洋生物のうち、漁業影響調査は、BACI法により長期間の調査及び事後のモニタリングを行う。今後、新しい知見や国内外の事例、専門家の意見等も踏まえながら、調査方法や予測及び評価方法について検討する。
11	動植物（海域）の予測評価に対する質問	海洋生物についての調査研究がかなり進んでいる点、それらの知見を活かす点はどう考えているか。	海外と日本では魚種・海象条件が異なるため、海外の調査手法をそのまま石狩湾に適用してよいものかどうか現段階ではわからないので、専門家の意見及び漁協の協力を得ながら、ニシン・サケなど、より適切な方法で調査する。

その他質問及び意見			
12	促進区域と違いが生じた場合の対応について	秋田県由利本荘沖のように促進区域が当初1区域から2区域になった場合、アセスは最初からやり直しという考えでよろしいか？	現状計画しているエリアが、促進区域のエリアと異なる場合は、アセスは最初からやり直す。
13	事業計画 (撤去について)	事業占用期間の30年、終わった場合には撤去という考えでよろしいか？また、撤去する場合、どのような方式で行われるのか。撤去しない場合、泥など環境影響がでるとおもうがどうか？	事業計画においては撤去費用も含める。現状復帰ベースで考えている。
14	説明会資料における経済波及効果に関する質問	資料中の経済効果についての質問。累計経済効果13兆円～15兆円は全国規模の投資か？	日本風力発電協会が予測した2030年までの日本全国の累計の経済効果を提示。
15	CO2削減効果に対する質問と要望	CO2を削減できると言われているが、一定に燃やし続ける火力発電に対して優位ではない。今後包括的なCO2削減量を根拠をもって出して欲しい。 (その場での回答は求められず)	別途、本事業のCo2削減効果を計算する。
16	住民の位置づけについて	ステークホルダーとしては、漁業者や港湾業者に重きを置かれてしまいますが、住んでいるの住民なので、ステークホルダーに限らず住民のことも考えていくかたちで、事業を考えていただきたい。	住民の方もステークホルダーと考えている。健康被害等にも十分配慮していく。
17	発電ロスに関する質問	発電効率、送電ロスを含めてどれぐらいの電力を寄与できるのか、売電がどれぐらいできるのか、今後は数字として示して欲しい。	今後の方法書段階以降で提示
18	農業への影響についての質問	大型の風車が多く建設されると風況が変化するので、農業にも影響がでる可能性がある。風向きが変化すると降雨量も変化する可能性があるが、その点についても検討しているか。	風車間の離隔は1km以上あり、岸からの離隔も十分あるので、風向が変わったり農業への被害というような事例を聞いたことが無い。